

政策整理番号 34

評価シート(A)

対象年度	H17	作成部課室	土木部土木総務課	関係部課室	土木部道路課, 企画部総合交通対策課
------	-----	-------	----------	-------	--------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4 - 10 - 2	政策名	国内の交流を進めるための交通基盤の整備
------	------------	-----	---------------------

政策概要	国内の広域的な交流や物流が活発に行えるよう、道路や公共交通等のネットワーク化を目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	高速道路の整備 県内各地と仙台空港や仙台国際貿易港等の拠点施設、県内外の中心都市、首都圏とを結び、人やモノが速く、安全に、行き来できるようにするため、高速道路を整備します。	高速道路IC40分間交通圏カバー率	A
2	国道、県道、市町村道の整備 県内の各地域相互や、各地域と高速道路ネットワークを有機的に結び、県内各地域の連携の強化を図るため、国道、県道、市町村道を整備します。	高速道路IC40分間交通圏カバー率 道路の改良率 緊急輸送道路橋梁整備率	A B ...
3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備 誰もが通勤、通学、通院、買い物などが容易にできるよう、バスや鉄道などの公共交通機関のネットワーク化を目指します。	県内移動における公共交通分担率	...
4	各輸送機関相互の連携の強化 人やモノが各種の移動手段を適切に乗り継ぐことにより環境にもやさしく円滑かつ迅速に移動できるような社会を実現するために、各輸送機関相互の連携を強化します。		

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方向に推移している), ... (現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	70.0	重視度 A	77	76	76	75
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	60
かい離 A-B 【かい離度】	20.0 【高い】	かい離 A-B 【かい離度】	17 【中】	16 【中】	16 【中】	15 【中】
満足度60点以上の回答者割合(%)	45.2	満足度60点以上の回答者割合	59.3	55.2	54.1	-

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・各施策の概要は上記に記載のとおりであり、政策を実現するためには4施策すべてが必要と認められる。 【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・施策の重複はない。 A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・本政策は、満足度は50点と低調だが、重視度は70点であり、かい離は20点と高く、県民が必要と感じている。 ・一般県民満足度調査結果から、県民の優先度の高いのは施策2, 施策3である。施策1, 施策4についても社会経済情勢から必要性が高い。

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか()			
1	第5回 10.7%	4位	・本施策の優先度は 4施策中 4位である。	・本県の高速度道路は概ね整備されているが、一部地域においては現在整備中であり、県土の均衡ある発展には欠かせないため、今後も重点的に取り組んでいく必要がある。 ・県民に身近な施策であり、重要性は変わらないため、継続的に取り組んでいく必要がある。 ・自家用車利用の増加や少子高齢化による利用者減少により、公共交通を取り巻く環境は悪化している。 ・県内においては、バスの路線廃止が進行しており、地域の需要に即した効率的な輸送体系の構築及び公共交通の利便性向上策の推進による、利用者の拡大が必要である。 ・高齢化の進展に伴い、独自の移動手段を持たない人の移動手段の確保が課題であり、公共交通の充実のための施策を今後とも重点的に取組んでいく必要がある。 ・施策3と一体となり、公共交通ネットワークの充実に資する施策である。 ・各公共交通間の連携を強化し、利用円滑化により公共交通の利用促進につなげる施策であり、継続的に取組んでいく必要がある。	大
	第4回 9.9%	4位	・本施策のikai離は 30.0点と 非常に高い。		
	第3回 10.7%	4位	【結論】必要性: かなり感じている		
2	46.3%	1位	・本施策の優先度は 4施策中 1位である。		
	50.2%	1位	・本施策のikai離は 25.0点と 高い。		
	51.5%	1位	【結論】必要性: かなり感じている		
3	29.9%	2位	・本施策の優先度は 4施策中 2位である。	大	
	25.8%	2位	・本施策のikai離は 30.0点と 非常に高い。		
	24.5%	2位	【結論】必要性: 非常に感じている		
4	12.1%	3位	・本施策の優先度は 4施策中 3位である。	中	
	12.5%	3位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。		
	12.6%	3位	【結論】必要性: 比較的感じていない		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切

概ね適切

課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・3つの指標とも適切であり、今後も継続する。
 ・施策2に政策評価指標「緊急輸送道路橋梁整備率」を追加するとともに、施策3に新たに「県内移動における公共交通分担率」を設定し、施策を適切に評価できるよう改善した。

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切
 ・施策1、施策2、施策3に指標が設定しており、適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効

概ね有効

課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策3			
政策評価指標達成度	有効	有効	有効	判定不能			
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	有効	課題有			
全体	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切

概ね適切

課題有

・当該政策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)、政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果、「概ね適切」と判断する。

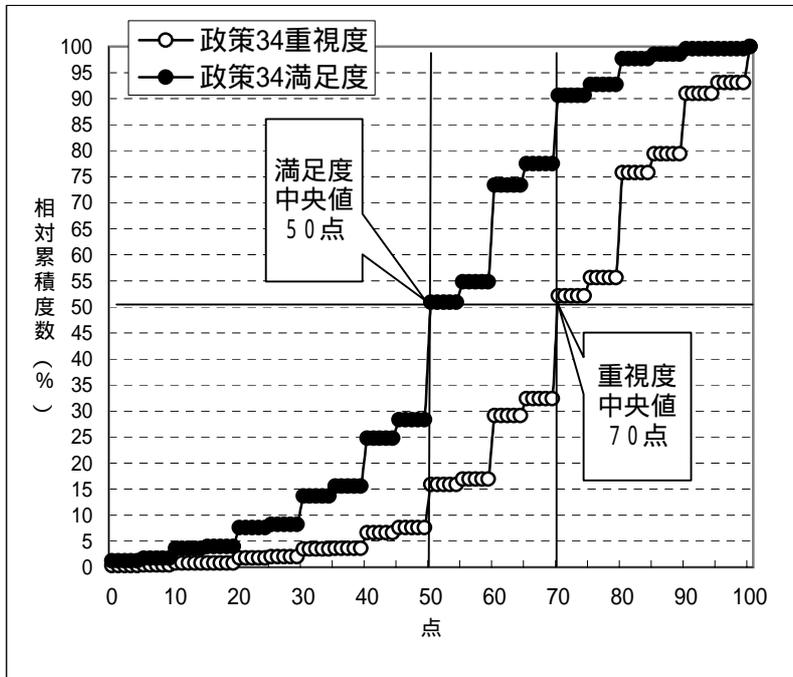
対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 2

政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 69.6 高認知度 37.0

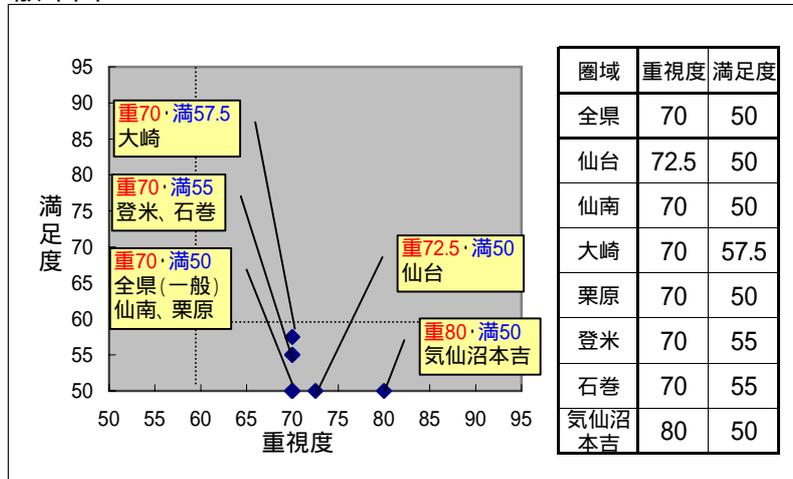


高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	75	75	50	55	60
第1四分位	-	-	-	45	45	55
第3四分位	-	-	-	65	60	65
四分偏差	-	-	-	10	7.5	5

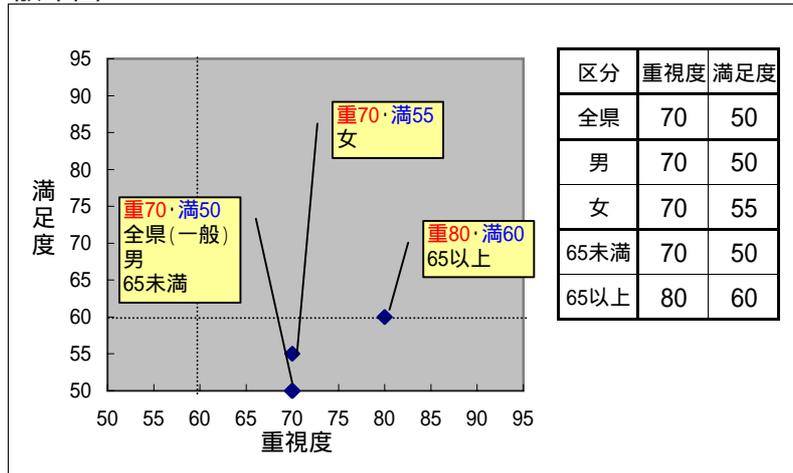
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	75	75	50	55	60
仙台	72.5	75	-	50	60	-
仙南	70	70	-	50	50	-
大崎	70	72.5	-	57.5	60	-
栗原	70	80	-	50	60	-
登米	70	80	-	55	60	-
石巻	70	80	-	55	50	-
気仙沼本吉	80	87.5	-	50	45	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	-	-	50	-	-
男	70	-	-	50	-	-
女	70	-	-	55	-	-
65未満	70	-	-	50	-	-
65以上	80	-	-	60	-	-

対象年度 H17

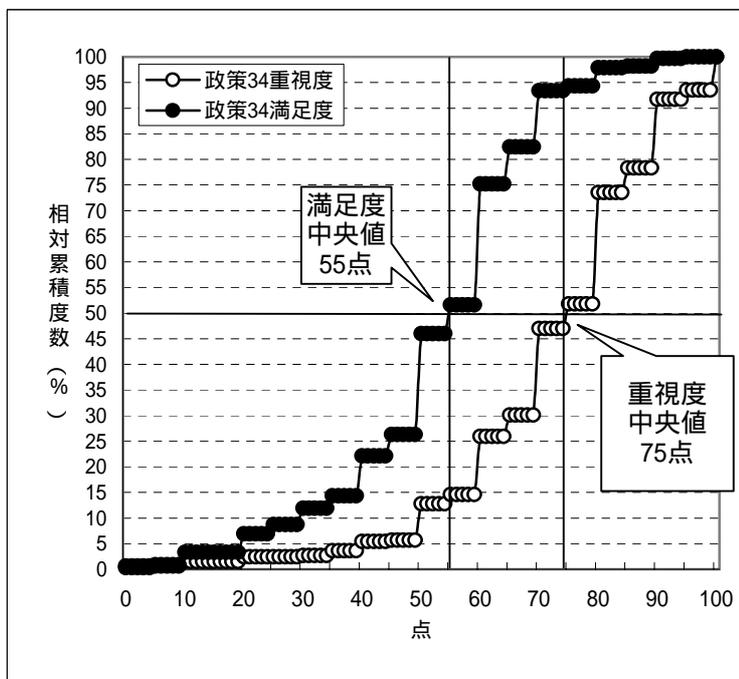
政策番号 4 - 10 - 2

政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

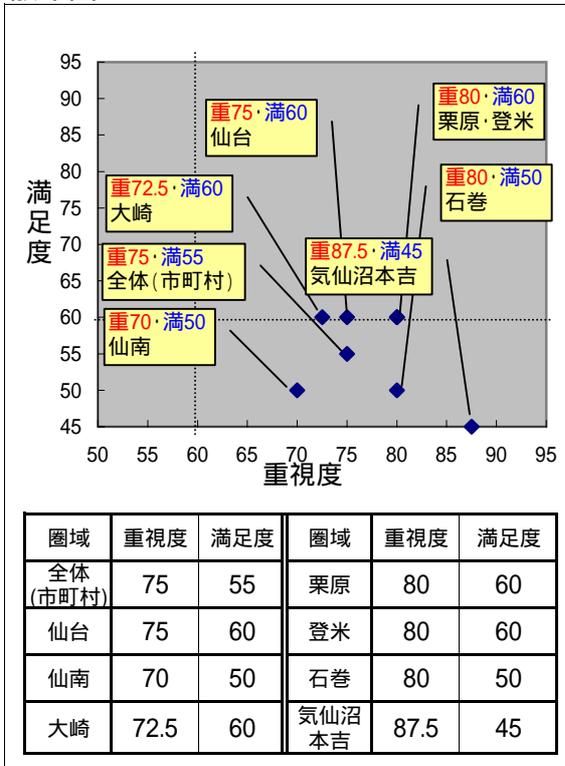
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 78.3

高認知度 57.3



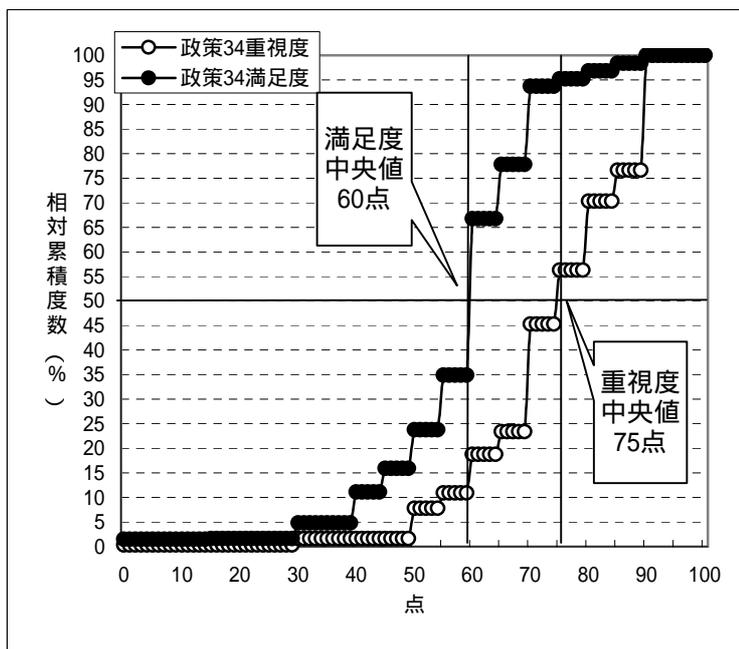
散布図



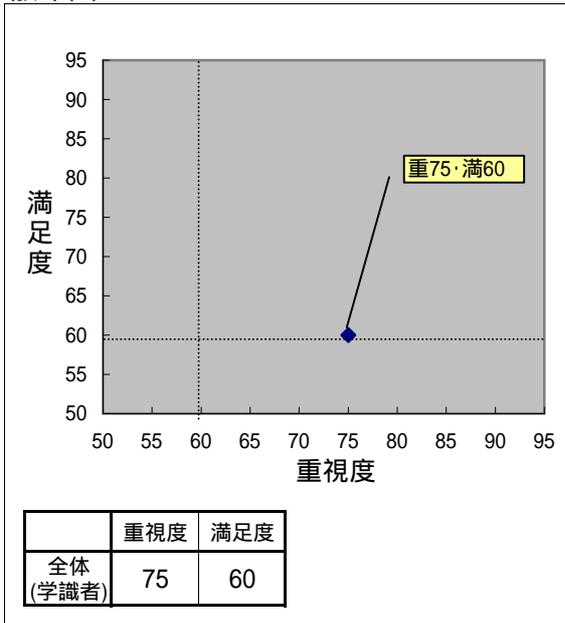
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 86.1

高認知度 60



散布図

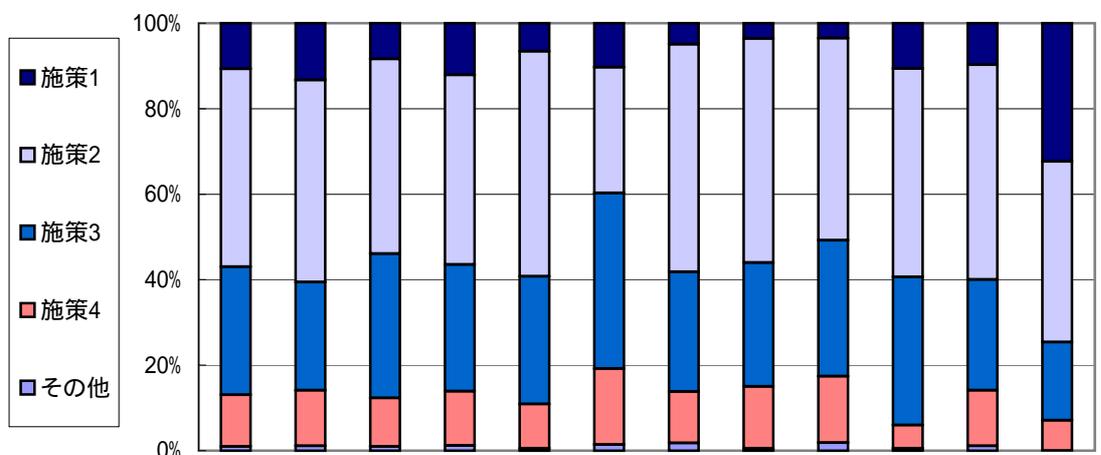


対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 2

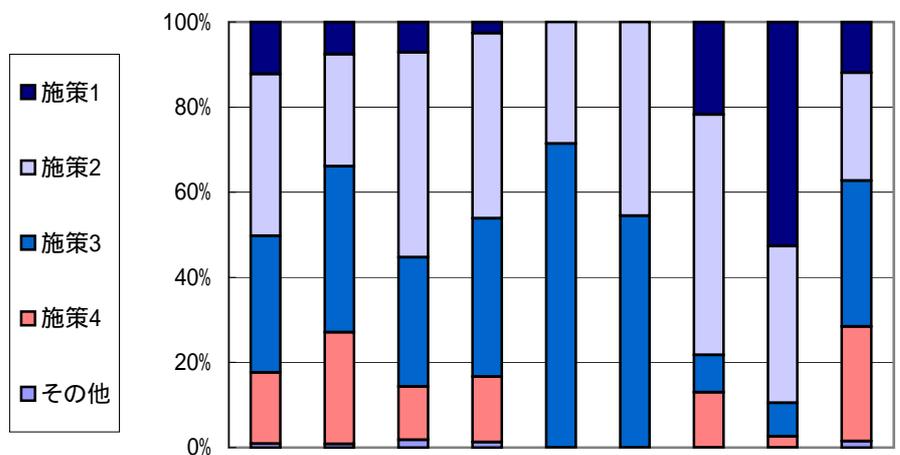
政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	高速道路の整備	10.7	13.3	8.4	12.1	6.6	10.3	4.9	3.6	3.5	10.6	9.7	32.4
施策2	国道、県道、市町村道の整備	46.3	47.3	45.6	44.4	52.7	29.4	53.3	52.5	47.3	48.8	50.3	42.3
施策3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	29.9	25.4	33.8	29.7	29.9	41.1	28.0	29.0	31.8	34.6	25.9	18.3
施策4	各輸送機関相互の連携の強化	12.1	13.0	11.3	12.7	10.4	17.8	12.0	14.5	15.5	5.5	13.0	7.1
	その他	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	1.4	1.8	0.5	1.9	0.5	1.1	0.0

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



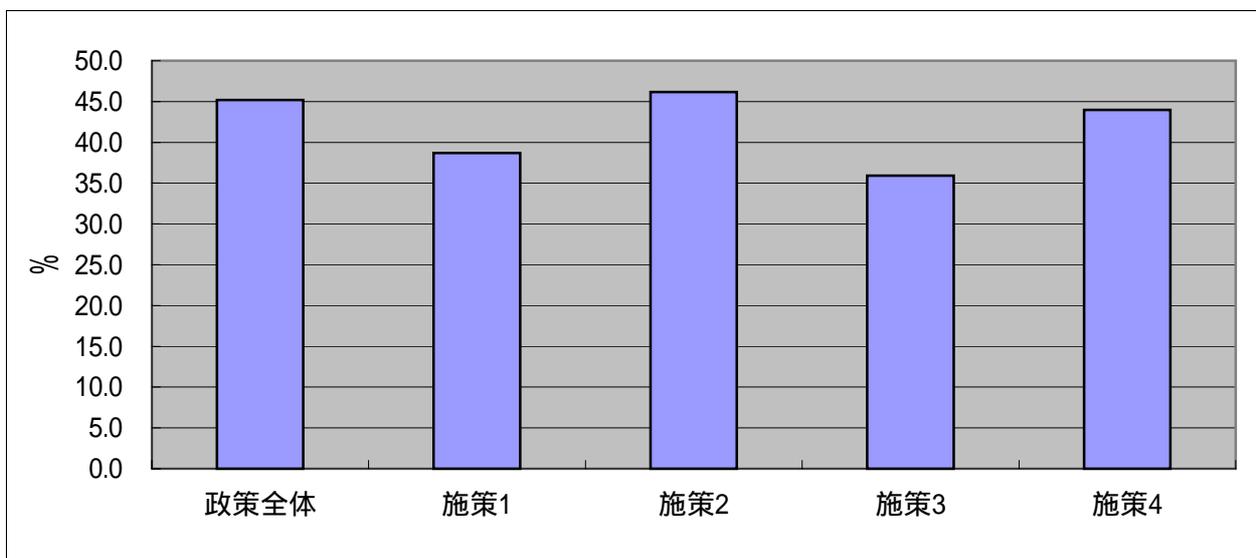
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	高速道路の整備	12.2	7.6	7.1	2.6	0.0	0.0	21.7	52.6	11.9
施策2	国道、県道、市町村道の整備	38.1	26.3	48.2	43.6	28.6	45.5	56.5	36.8	25.4
施策3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	32.1	39.0	30.4	37.2	71.4	54.5	8.7	7.9	34.3
施策4	各輸送機関相互の連携の強化	16.7	26.3	12.5	15.4	0.0	0.0	13.0	2.6	26.9
	その他	0.9	0.8	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5

対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 2

政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回						
	政策全体	45.2						
施策1	高速道路の整備	38.7						
施策2	国道、県道、市町村道の整備	46.2						
施策3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	35.9						
施策4	各輸送機関相互の連携の強化	44.0						